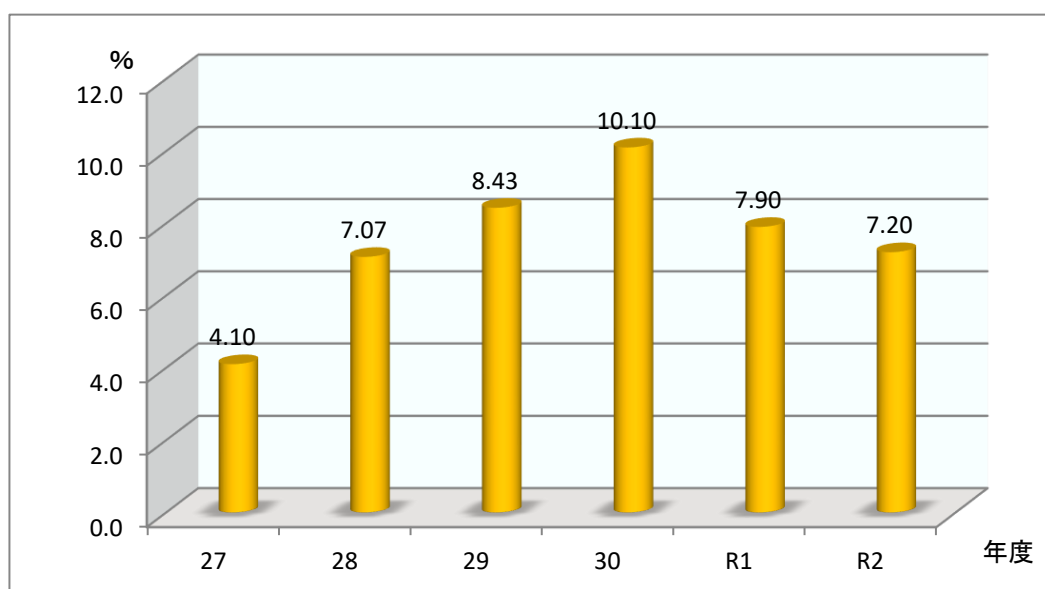


25 CPC(臨床病理検討会)の検討症例率

解説

CPC(臨床病理検討会)とは臨床医・病理医・検査担当医などが、診断や診療のプロセスの妥当性を討論する症例検討会であり、一般的には剖検(病理解剖)が行われた症例を対象とします。診療行為を見直し、今後の治療に役立てる取り組みを評価する指標です。医学生、研修生の教育にも大いに寄与するものです。

実績



自己点検評価

CPCとは、病理解剖を行った後に、臨床医、病理医、さらに直接その症例の診断や治療に関与していない医療関係者も含めて、様々な立場から症例の病態を検証し、そこから得られた知見を次の医療に役立てることが目的です。解剖させていただいた患者様ご本人をはじめ、病理解剖をご承諾いただいたご家族の皆様のお気持ちに報いるためにも、少しでも多くの知見を得て将来に役立たせるため、日々取り組んでいます。

定義

対象年度1年間のCPC(臨床病理検討会)のCPC件数を死亡患者数で除した割合(%)。自院での死亡退院を対象とします。ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めます。

算式

分子:CPC件数。
分母:死亡患者数。